



## 中央公園を清掃

九電工松浦営業所（北島克己所長）と協力会社の社員が10月16日、中央公園の清掃を行いました。

九電工が「さわやかコミュニティ旬間」（10月19日～30日）に、社会貢献活動の一環として毎年行っており、日ごろ市民が憩いの場として利用していることや水軍まつりなどのイベントで市内外から多くの人が集まることから2年前から同公園を清掃しています。この日集まった8人は、同公園の落ち葉を掃いたりごみを拾ったりした後、きらきら21前の歩道まで範囲を広げて清掃を行いました。



## 児童館運動会

親子の親ぶくを深めてもらうことを目的とした児童館運動会（児童館、母親クラブ主催）が10月16日、児童館で開催されました。

この日は、児童館を利用している親子約70人が参加。かけっこやボール転がし、お母さんによる綱引きなどの競技が行われ、親子で楽しみながら爽やかな汗を流しました。

## サクソとピアノの協演に魅了

三井住友海上文化財団派遣コンサート「トルヴェール・クワルテット」が10月18日、文化会館で開催されました。

同コンサートは、市民などが音楽に親しむ機会を、同財団の助成により低料金で提供するもの。この日集まった市内外の音楽愛好家や市民など約300人は、メンバーからの楽器の説明やサクソの四重奏とピアノの協演に聞き入っていました。



## エミネントスラックスに感謝状

今年操業40周年を迎えたエミネントスラックス（真弓隆治代表取締役社長）に10月13日、感謝状が贈られました。

同社は昭和44年、本市に誘致企業の第1号として立地。以来地域産業の発展に大きく貢献されたとして感謝状が贈られたものです。

友広市長は「誘致企業第1号のエミネントさんが本市で成功されたことが、後の企業誘致につながっている。大変感謝している」と話しました。

また、10月27日には同社から40周年を記念し地域に貢献したいとして、市内の高齢者福祉施設利用者に使ってほしいと500枚のひざ掛けが贈られました。



# まちの話題



## 県内一斉防犯パトロール

県内一斉防犯パトロールが10月13日、市内7カ所で行われました。

10月11日から20日にかけて行われた「全国地域安全運動」の一環として実施。地域ぐるみの自主防犯活動の輪を各地域に広げ、犯罪のない安全で安心な地域社会の実現を目指すことを目的に行われたものです。

志佐地区では、防犯協会志佐支部、少年補導員、シルバー防犯隊、小・中・高校PTAなど約70人が参加。市役所玄関前に集まった参加者たちは2班に分かれて、志佐小学校周辺や市立図書館などの公共施設を回り、チラシなどを配りながら防犯を呼び掛けました。





## アンデスのハーモニーふたたび

音楽愛好家グループ「オルゴールの会」（山口礼子代表世話人）主催コンサート「アンデスからの訪れ 心の架け橋コンサート ふたたび」が10月25日、文化会館で開催されました。

10回目となる今回のコンサートでは、山口修さん（ギター）と純子さん（ソプラノ）<sup>おさむ</sup>夫妻や、ペルーアンデス・クスコを本拠地として演奏活動をしている「インカニヤン」が出演。会場に訪れた約250人の観客は、アンデスの大自然を思わせる歌声のハーモニーやケーナなどの楽器の音色に聞き入っていました。また、最後は出演者全員と観客が「ふるさと」を一緒に歌いました。この日の収益金は、市立図書館への児童図書の寄贈とユニセフ募金に活用されました。

## 調川町で粘着テープ工場地鎮祭

中興化成工業粘着テープ工場新築工事の地鎮祭が10月26日、中興化成工業敷地内で行なわれました。

中興化成工業はフッ素樹脂専門メーカー。今回建設予定の工場は延べ床面積約1,700平方<sup>メートル</sup>の地上1階、鉄骨造りで多用途の粘着テープを製造するもの。来年3月完成を目指して建設が行われます。

この日は、鍬入の儀などの地鎮の儀の後、中興化成工業木曾節文代表取締役会長などが玉串奉奠を行い工事の安全を祈願しました。



## 原子力防災訓練を実施

長崎県原子力防災訓練が10月23日、鷹島町で実施されました。

災害対策基本法や原子力災害対策特別措置法、地域防災計画などに基づく訓練で、防災関係機関相互の協力体制の強化と、住民の原子力防災に対する理解を図ることを目的に実施されたものです。訓練には、市や県、警察、消防など17機関と九州電力玄海原子力発電所から10<sup>キロ</sup>圏内にある鷹島町阿翁・阿翁浦・日比地区の住民、合わせて約200人が参加。玄海原発からの放射性物質漏れを想定し、災害対策本部の設置や海上と陸上における避難・誘導、放射線量を測定するモニタリングなど6項目の訓練を実施しました。



## 安全意識の浸透を図るため開催

安全・安心まちづくり松浦地区大会（松浦地区連合防犯協会、松浦警察署、市、市教育委員会主催）が10月24日、きらきら21で開催されました。

市では「安全・安心まちづくり条例」を制定し、市民が安心して暮らせる地域社会の実現を目指しています。本大会は、防犯栄誉金賞の伝達や、小中高生から募集した防犯標語・ポスターの入賞者などを表彰し、安全・安心まちづくりの講演会を開催することで安全意識の浸透を図るために開催されたものです。主な表彰者は次の方々です（敬称略）。

【防犯栄誉金賞】上松シズエ

【防犯功労】中原惇

【防犯標語の部・最優秀賞】矢本一華（上志佐小1年）、土谷穂乃佳（福島小5年）、金井田梨沙（鷹島中3年）、福浦綾花（松浦東高2年）

【防犯ポスターの部・最優秀賞】川下綾菜（青島小3年）、山下美咲（御厨中2年）



## 消火器操法大会

第8回消火器操法大会（松浦地区消防組合消防本部主催）が10月28日、文化会館屋外集会场で開催されました。

消火器の操作方法を知り、初期消火体制を確立することを目的として、松浦地区消防本部管内の事業所を対象に、屋内消火栓操法大会と交互に毎年開催されています。今大会には、男女25チームが参加。2人1組で出火場所を発見・通報、避難誘導を行い、標的を水消火器を使って倒すまでの消火作業の所要時間や消火器の操作の正確性を競いました。上位の結果は次の通りです。

【男子】①九州電力松浦発電所B ②住商エアバッグB ③ニッチツ機械本部

【女子】①管理グループ(福島サポート(株)) ②特別養護老人ホームいろは島荘B ③特別養護老人ホームいろは島荘A

